

診療部門 1階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
総合診療科	1診	荒木	井上	水野	山崎	河越
	2診	北口	岡本	石原	中川	石田

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
リウマチ・膠原病科	3診	河島	河島		河島	河島

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
整形外科	1診	新本	庄司	西川	石田	曾田
	2診	西川	石田	川西	曾田	庄司
	3診		生田			新本

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
放射線科	午前	1診	影本	影本	伊東	伊東
		2診	岡部	浦島	岡部	浦島
	午後	1診	岡部	影本	伊東	伊東
		2診	松浦(範)		浦島	

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
緩和ケア	予約1診		緩和ケアチーム 担当医師			

診療部門 2階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
外科	1診	塩崎	二宮	大野	塩崎	二宮
	2診	原野	小島	西崎	丁田	松川

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
皮膚科	4診		江草	江草	江草	
	5診	内藤	内藤(初診)	内藤	内藤(初診)	内藤
	6診	戸井(初診)	戸井	戸井(初診)	戸井	戸井(初診)

(初診は 月水金は戸井 火木は内藤)

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
内科	1診	中川	荒木	石田	水野	荒木
	2診	岩堂	大江	岡本	植松	植松
	3診			小川	黒目	
	4診	中園	高沢	山崎		山崎
	7診	野田	野田			野田
	8診		水木	大倉	渡邊	
	9診	水木	望月	望月	水木	望月

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
呼吸器内科	1診	親川	岩本	北口		稲田
			(午後腫瘍内科)			

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
呼吸器外科	1診	松浦		松浦	片岡	藤原

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
循環器内科	1診	井上	嶋谷	河越	井上	臺
	2診	石原	栗栖	香川	嶋谷	中間

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
心臓血管外科	1診	柚木	大庭	毛利	久持	吉田

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
歯科 歯科口腔外科	初診	中野	澤木	中野	佐藤	澤木(1.3.5週) 大杉(2.4週)
	午前	澤木	中野	澤木	澤木	中野
		大杉	大杉	大杉	大杉	澤木
	午後		佐藤			大杉
		外来予約(中野)	外来予約(中野)	外来予約(中野・大杉)	外来予約(中野・大杉)	外来予約(大杉)
		インプラント外来(澤木・佐藤)	インプラント外来(澤木・大杉)	インプラント外来(澤木・佐藤)	インプラント外来(澤木)	口蓋床外来(澤木)

外来診療のご案内

診療受付時間 -----

午前8時30分～午前11時00分

*【眼科】火曜日 午前10時00分まで

休診日 -----

土曜日、日曜日、祝祭日、8月6日、

年末年始(12月29日～1月3日)

診療部門 3階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
眼科	午前	1診	原		原	
		2診	寺田	寺田	橋本	寺田
		3診	細川	細川		細川
	午後	予約検査	手術	予約検査	手術	予約検査

受付時間 月水金(8:30～11:00)火(8:30～10:00)

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
耳鼻科 頭頸科	初診	1診	井口	江草	綾田	花川
	再診	2診	綾田	花川(2.4週)	江草	井口
				銅前(1.3.5週)		綾田(2.4週)
		3診	花川		銅前(2.4週午前中)	

水2診14:00～アレルギー外来 水3診14:00～難聴・中耳炎外来

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
形成外科	午前	1診	身原	木村	増田	身原
		2診		増田		増田
		3診		身原		高田
	午後		レーザー	義眼外来	レーザー	

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
小児科	1診	伊豫田	小川	伊豫田	越智	伊豫田
	2診	越智	鎌田(研)	石口	小川	鎌田(研)
循環器小児科	3診	鎌田(循)		鎌田(循)	中川(循)	馬場(循)
小児外科	4診	秋山	手術	今治	担当医	手術
	未熟児	元重	西村	林谷	前野	野村

鎌田(研)は一般小児科です。

診療部門 4階

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
産科 婦人科	1診	小坂	野間	吉田	石田	吉田
	2診	野間	舩本	早田	依光	小松
	午後予約		検査		検査	三村
	3診	石原	辰本	岡田	西川	小坂
	午後予約	関野				
	5診	石田	早田	舩本	小松	依光

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
乳腺外科	1診	檜垣	大谷	伊藤	大谷	檜垣
	2診	伊藤				

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
脳神経外科	予約1診	西野	村岡	目黒	寺田	田邊(初再診)
	初再診2診	寺田	目黒	廣常	西野	廣常(予約)

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
泌尿器科	初診1診	三枝	松本	黒瀬	村尾	江原
	再診2診	村尾	江原	松本	三枝	黒瀬

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
神経内科	1診	郡山	神崎	郡山	田路	上利
	2診	神崎	上利	郡山	神崎	郡山
	3診	田路	岸本	田路	岸本	岸本

診療科目	診療室	月	火	水	木	金
精神科	4診	和田	撰	和田	撰	和田
	5診	撰	原田	矢守	原田	矢守
	6診		中岡		中岡	中岡

各診療日の担当医師につきましては、医師の異動等により変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか1,570円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

かがやき

NO.22

平成22年2月

編集・発行

広島市立広島市民病院

〒730-8518 広島市中区基町7番33号
TEL / 082-221-2291 FAX / 082-223-5514

ホームページアドレス

http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/

待ち時間を少なくするために



副院長 二宮 基樹

病院を受診されるにあたって辛いことのひとつに「待たされる」ということがあると思います。しかし、予約外来をしていても治療に予想外の長時間を要したり、予約なしに初診の方が受診されたりする事はとてもよくあります。予約枠を少なくしたり予約診療だけに専念できればお待たせすることはぐっと少なくなるでしょうが、それでは市民の皆さまのニーズに応えることができません。待ち時間を少しでも少なくしようと外来診察医はわずかな時間で遅い昼食を済ませてすぐに診察室に戻ったり、昼食抜きで夕方まで診察を続ける医師もいます。

ところで、当院を受診される患者さまは1日平均約1,500名ですが、うち血液検査をしたあと

に診察を受けられる方は500名程と1/3にものぼります。採血での待ち時間を少なくしようと検査室も懸命の努力を重ね、一般検査では30分、特殊検査でも1時間で結果を出せる体制を整えました。しかし、看護師が採血できる人数には限界があります。そして、開院直後に患者さまが集中し8時半の時点ですでに1時間半お待たせする構造になっていることが判明いたしました。この調査結果を踏まえて、当院では採血がある患者さまの来院時間を診察時間に合わせてきめ細かく設定させて戴くことに致しました。少しでもお待たせする時間が短くなることを願っています。

当院は市民の皆様のための病院として快適な療養環境を整えるべく、あらゆる方向から待ち時間を少しでも少なくする方策の検討を進めています。その思いとそこに横たわる限界を併せてご理解戴ければ幸いです。

基本理念

広島市の中核病院として、患者さまの立場を尊重し、質の高い医療を提供します。

～基本理念実現のための3つの柱～

1. 患者さまの立場を尊重し、信頼され満足される医療を提供します。
2. 地域医療機関との連携のもとに、急性期医療を中心に高度な医療を提供します。
3. 健全な病院運営に努め、良質で安全な医療を提供します。

患者さまの権利に関する宣言とお願い

広島市立広島市民病院は、信頼され満足される医療を提供するため、次のような患者さまの権利を尊重します。

1. あなたには、個人として尊重される権利があります。
2. あなたには、良質で適切な医療を平等に受ける権利があります。
3. あなたには、診療に関して十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. あなたには、自分自身の治療などについて、自分の意見を述べ、自ら決定する権利があります。
5. あなたには、当院での医療に関するプライバシーを保護される権利があります。

これらの権利を守り、より良い医療を実現するには、患者さまと医療提供者とが力を合わせて取り組む必要があります。そのために、患者さまも積極的に医療に参加・協力する責任があることをご理解のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

神経内科

神経内科は脳・脊髄・末梢神経や筋肉の病気を内科的に診断・治療することにより、脳を守り、脳を救う内科です。

神経内科とはどのような内科でしょう？

神経内科は脳・脊髄・末梢神経や筋肉の病気を診断・治療する内科です。症状としては、頭が痛い、目が回る、手足がしびれる、手足が動きにくい、歩きにくい、しゃべりにくい、ものが二重に見える、けいれん、物忘れ、意識障害などがあります。これらの症状がみられる場合に、全身をみることのできる神経内科においてどこかの病気であるかを見極めることが重要です。その上で、手術が必要な病気の場合は脳神経外科にご紹介します。また、骨や関節の病気が原因なら整形外科に、精神的なものは精神科にご紹介します。したがって、その他の内科や脳神経外科、整形外科、循環器内科、精神科、眼科、耳鼻咽喉科を始めとする全ての診療科と連携しています。

神経内科ではどのような病気を診るのでしょうか？

脳卒中や一過性脳虚血発作などの脳血管疾患は脳神経外科とも協力して診療を行っており、重症筋無力症・多発性硬化症・ギランバレー症候群などの免疫性神経疾患（免疫異常による神経系の病気）は全国でも有数の診療実績があり、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患（ある特定の神経系が障害される病気）などの診療も積極的に行っています。また、糖尿病や膠原病などの全身疾患に伴う神経筋疾患、髄膜炎・脳炎などの神経感染症、頭痛やてんかんなどの発作性疾患、末梢神経疾患、筋疾患などの診療にも豊富な経験があります。

どのような診断・検査を行っているのでしょうか？

脳血管疾患においては、神経画像検査として、X線コンピュータ断層撮影（CT）や核磁気共鳴画像（MRI）に加えて、血管病変の評価のためにCTやMRIを用いた血管造影（MRAやCTA）、頸動脈超音波検査、脳血流や脳機能の評価のために脳血流SPECTなどを実施し、血液検査では、血小板や血液の固まりやすさ（血小板機能や血液凝固能）を評価した上で、脳血管疾患の発症や再発の予防のための血小板や血液を固まりにくくする治療（抗血小板療法や抗凝固療法）の選択と投与量の調整を行っています。免疫性神経疾患では、血液検査・髄液検査における一般的な検査に加えて、神経組織に対する抗体などの特殊検査は広島大学病院などの他の医療機関に検査を委託して、診断・治療方針を決定しています。末梢神経



疾患や筋疾患では、神経生理検査として、末梢神経や筋肉の障害を調べる末梢神経伝導検査・筋電図などを、神経病理検査として、末梢神経や筋肉の一部をとって顕微鏡で評価する末梢神経生検・筋生検などを行っています。



頸動脈超音波検査



末梢神経伝導検査・筋電図

どのような治療を行っているのでしょうか？

脳血管疾患では、脳梗塞急性期に血栓を溶かす血栓溶解療法、脳梗塞の再発予防や一過性脳虚血発作後の脳梗塞への進展防止のための抗血小板療法や抗凝固療法を行っています。免疫性神経疾患では、急性期の症状改善や慢性期の再発予防のために、免疫や炎症を抑制する目的で経口ステロイド・ステロイドパルス療法・免疫抑制薬・免疫グロブリン療法・血液浄化療法などを最新の治療指針に従って適切に選択し、最先端の高度な治療を行っています。パーキンソン病においては病状に応じて治療薬の選択と調整を行い、日常生活や社会生活の改善・向上に努めています。眼瞼痙攣や痙性斜頸においてはボツリヌス療法を行っています。

患者さんのためのより良い医療

地域中核病院として、また総合病院のなかの神経内科として、地域の医療機関や他の診療科の期待に応えることのできるように、高水準の医療を提供し、神経救急疾患の診療に積極的に取り組み、患者さんのためにより良い医療の提供を目指しています。



前列左から上利医師、郡山主任部長、田路医師
後列左から神崎医師、岸本医師

看護部

私は、「緩和ケア認定看護師」です。

橋本 寿子



私は、2008年6月に緩和ケア認定看護師として認定されました。



私達看護師は、患者・ご家族の皆様が安心して心やすらかに治療を受けられるよう日々支援しています。その中で認定看護師の

私は、がんや難しい病気と診断された患者・ご家族の皆様の、治療途中で起こる身体の痛みや心の辛さなどに対し、医師や、スタッフからの相談を受けて、苦痛がより一層緩和できるよう指導・実践をしています。

院内では緩和ケアチームも活動しており、その一員として頑張っています。



緩和ケア

外科・緩和ケアチーム 塩崎 滋弘

2006年6月に制定されたがん対策基本法およびそれに基づくがん対策推進基本計画の中で、がん患者に対する緩和ケアの推進が重要課題として取り上げられました。同時にがん診療連携拠点病院には緩和ケアチームの設置が義務づけられました。すなわちがん患者さんやご家族が質の高い療養生活を送れるようにするため、身体的な苦痛や心理的な苦痛に対し、診断早期から切れ目なく緩和ケアを提供し援助を行うことが求められています。

当院でも2005年12月に緩和ケアチームを立ち上げ活動してきました。メンバーは、身体症状を担当する医師、精神症状やこころの問題を担当する医師、緩和ケア認定看護師ほか看護師、薬剤師、メディカルソーシャルワーカー（MSW）などの多種の職種からなっています。（写真1）

主な活動は、①がんによる疼痛や精神的あるいは社会的問題で困っている入院患者さんに対して主治医からの紹介、依頼を受けて治療の支援をする（コンサルテーション）。②がん患者さんの多い病棟をチームで定期的に回診して支援を行う（ラウンド）。③当院に通院中のがん患者さんの支援を行う緩和ケア外来。④緩和ケア研修会の企画運営などによる普及活動などです。

因みに2009年度は40件のコンサルテーションと延べ約300件のラウンドを行いました。また2009年2月

に開設した緩和ケア外来（現在毎火曜日の午後、週一回のみの診療）では、予約制で一人あたり30分以上の時間を取り、じっくりお話を聞かせていただくようにしています。外来開設以来延べ85名の診療を行っています。当院は緩和ケア専門病棟がない中で課題もありますが、チーム内で協力し合い、医療支援センターとも連絡を取り合って十分なケアができるよう努めています。

緩和ケアは、良好な生活の質を維持することを目指したものです。痛みが治まらない、薬の副作用で苦しい、気分が落ち込み不安があるなどでお困りであり緩和ケアチームへの相談を希望される場合は主治医、病棟看護師にご相談ください。主治医や病棟のチームと連携して支援を行わせていただきます。



当院の緩和ケアチーム